

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高 Ⅰ 年 34名		美術Ⅰ (光村図書)

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	4	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人) 身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：B鑑賞ア(ア)(イ))	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 (思判表力) 身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり鑑賞している。 (学・人) 身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○身近なものを描く	身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や選んだ画材などの特性を生かして表す。	国語 理科
	5月	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 基本的な色の仕組みや性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：共通事項(ア)(イ))	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表) 基本的な色の仕組みや性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○色彩の基礎	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を広げる。	国語 理科
	6月		(知及技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心な	(知・技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。	○集めてつくる	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑	理科

	7月	10	どの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。		性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。	
--	----	----	---	--------------------------------------	--	--	--

2 学 期	9月	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。(思・判・表) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。(主学) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○版画	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。	国語 理科 数学
	10月	4	(知及技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表している。(思・判・表) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。(主学) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○伝えるデザイン	・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、ポスターをデザインする。	各教科
	11月	10	(知及技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。(思・判・表) 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。(主学) 写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○写真で表す	被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして、学校生活で心に残る情景を思いが伝わるように表す。	国語 理科
	12月						

3 学 期	1月	8	(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。 (高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学) 実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。	国語 社会 音楽
	2月	8	(知及技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深める。 (高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。 (高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深めている。 (思・判・表) 作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学) 社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	○私たちに問いかける美術	生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「私たちに問いかける美術」について1年間の学びとともに振り返る。	国語 社会
	3月						
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・態度 ・理解度 ・習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高Ⅰ年 9名		ワークシート

年間目標			（知及び技）知識及び技能	絵画・デザイン・版画及び立体造形等を通じて技能を身につけ、知識を深める。（高等部Ⅰ段階）			
			（思判表力）思考力、判断力、表現力等	自分なりに工夫し表現することができる。（高等部Ⅰ段階）			
			（学・人）学びに向かう力、人間性	造形活動に興味関心を持ち、積極性を育てる。（高等部Ⅰ段階）			
日	月	時数	単元・題材目標 （三つの柱）	単元・題材の評価規準 （三観点）	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	4	（思判表力）（学・人）自由に描くことができる（中ー2段階 A表現ーア）	（思・判・表）（主学）自由に描こうとする	絵画	・自由描画	国語
	5月	8	（知及技）色の違いを理解し、好みに合わせて彩色することができる（中ー2段階 共通事項ーア）	（知・技）色の違いを理解し、好みに合わせて彩色しようとする	絵画	・自由描画	国語
	6月	8	（知及技）（学・人）現代技法（マープリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等）によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持つ（中ー2段階 共通事項ーア）	①（知・技）（主学）現代技法（マープリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等）によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持とうとする	デザイン	・現代技法（マープリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等）による作品制作	数学
	7月	4	（学・人）粘土等に触れ変形させることができる（知及技）（中ー2段階 A表現ーア）	（知及技）（主学）粘土等に触れ変形させようとする	工芸	・陶芸	理科
Ⅱ学期	9月	8	（思判表力）（学・人）紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ることができる（中ー2段階 A表現ーア）	（思判表力）（主学）紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ろうとする	立体造形	・紙や木片やアルミホイル等を用いた立体制作	理科 数学
	10月	8	（知及技）（学・人）共同制作を通じて大きな作品を作り上げることの興味関心を育くむ（中ー2段階 共通事項ーア）	（知・技）（主学）共同制作を通じて大きな作品を作り上げることの興味関心をもとうとする	ポスター	・テーマに即した描画・彩色 ・ICT機器活用	国語 体育 情報
	11月	8	（思判表力）コラージュや線刻等の技法を用いて版を作り上げることができる（中ー2段階 A表現ーア）	（思・判・表）コラージュや線刻等の技法を用いて版を作ろうとする	版画	・版画	国語 理科
	12月	6	（知及技）パレンやプレス機を回し版画を完成させることができる（中ー2段階 A表現ーア）	（知・技）パレンやプレス機を回し版画を完成させようとする	版画	・版画	国語 理科
Ⅲ学期	1月	4	（知及技）（思判表力）（学・人）主題に合った作品を自由に表現することができる（中ー2段階 A表現ーア）	（知・技）（思・判・表）（主学）主題に合った作品を自由に表現しようとする	卒業式壁画	・卒業式壁画	音楽 理科
	2月	8	（知及技）（思判表力）（学・人）主題に合った作品を自由に表現することができる（中ー2段階 A表現ーア）	（知・技）（思・判・表）（主学）主題に合った作品を自由に表現しようとする	卒業式壁画	・卒業式壁画	音楽 理科
	3月	4	（知及技）（学・人）作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高める（中ー2段階 ・B鑑賞ーア）	（知・技）（主学）作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高めようとする	鑑賞（まとめ）	・作品鑑賞	国語 社会
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・態度 ・理解度 ・習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高 2 年 24名		高校生の美術Ⅰ (日本文教出版)

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	4	(知及技) 風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。 (高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))	(知・技) 風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。 (思・判・表) 身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学) 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○私のみつけた風景	身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、風景から感じ取ったよさや美しさなどを選んだ画材の特性を生かして表す。	国語 理科
	5月	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。 (高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。 (高Ⅰ段階：共通事項(ア)(イ))	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表) 基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。	国語 理科
	6月		(知及技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を	(知・技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。	○身近な素材と立体表現	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重	理科

	7月	10	練ったり鑑賞したりする。 (高2段階：A表現ア (ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。 (高1段階：A表現ア (ア)、共通事項(ア)(イ))	(主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価		さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。	
--	----	----	---	--	--	--	--

2 学 期	9月	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。(思・判・表) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。(主学) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。	国語 理科 数学
	10月	4	(知及技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。(高2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表している。(思・判・表) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。(主学) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○ポスターで伝える	・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え、ポスターをデザインする。	各教科
	11月	10	(知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表す。(高Ⅰ段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫する。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組む。(高Ⅰ段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表している。(思・判・表) 画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫している。(主学) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○アニメーションの手 法	テーマを基に、絵コンテを描くなどして画面の変化のさせ方や速度などを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫してアニメーションを制作する。	国語 理科
	12月						

3 学 期	1月		(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。 (高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。 (高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学) 実物の大きさならではの迫力や先生などをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。	国語 社会 音楽
	2月	8	(知及技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深める。 (高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深めている。 (思・判・表) 使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学) 社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	○これからの私と美術	生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。	国語 社会
	3月						
	評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況	・授業に対する取組姿勢	・課題の処理意欲	・態度 ・理解度	・習得度

令和8年 高等部2年 (Ⅱ課程B) 美術科 年間指導計画 (シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高 2 年 7名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	絵画・デザイン・版画及び立体造形等を通じて技能を身に付け、知識を深める。(高等部I段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分なりに工夫し表現することができる。(高等部I段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	造形活動に興味関心を持ち、積極性を育てる。(高等部I段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	4	(思判表力) (学・人) 自由に描くことができる(中ー2段階 A表現ーア)	(思・判・表) (主学) 自由に描こうとする	絵画	・自由描画	国語
	5月	8	(知及技) 色の違いを理解し、好みに合わせて彩色することができる(中ー2段階 共通事項ーア)	(知・技) 色の違いを理解し、好みに合わせて彩色しようとする	絵画	・自由描画	国語
	6月	8	(知及技) (学・人) 現代技法(マーブリング・コラージュ・フロタージュ・デカルコマニー等)によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持つ(中ー2段階 共通事項ーア)	①(知・技) (主学) 現代技法(マーブリング・コラージュ・フロタージュ・デカルコマニー等)によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持つ	デザイン	・現代技法(マーブリング・コラージュ・フロタージュ・デカルコマニー等)による作品制作	数学
	7月	4	(学・人) 粘土等に触れ変形させることができる(知及技)(中ー2段階 A表現ーア)	(知及技) (主学) 粘土等に触れ変形させようとする	工芸	・陶芸	理科
2 学 期	9月	8	(思判表力) (学・人) 紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ることができる(中ー2段階 A表現ーア)	(思判表力) (主学) 紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ろうとする	立体造形	・紙や木片やアルミホイル等を用いた立体制作	理科 数学
	10月	8	(知及技) (学・人) 共同制作を通じて大きな作品を作り上げることの興味関心を育くむ(中ー2段階 共通事項ーア)	(知・技) (主学) 共同制作を通じて大きな作品を作り上げることの興味関心をもとうとする	ポスター	・テーマに即した描画・彩色 ・ICT機器活用	国語 体育 情報
	11月	8	(思判表力) コラージュや線刻等の技法を用いて版を作り上げることができる(中ー2段階 A表現ーア)	(思・判・表) コラージュや線刻等の技法を用いて版を作ろうとする	版画	・版画	国語 理科
	12月	6	(知及技) パレンやプレス機を回し版画を完成させることができる(中ー2段階 A表現ーア)	(知・技) パレンやプレス機を回し版画を完成させようとする	版画	・版画	国語 理科
3 学 期	1月	4	(知及技) (思判表力) (学・人) 主題に合った作品を自由に表現することができる(中ー2段階 A表現ーア)	(知・技) (思・判・表) (主学) 主題に合った作品を自由に表現しようとする	卒業式壁画	・卒業式壁画	音楽 理科
	2月	8	(知及技) (思判表力) (学・人) 主題に合った作品を自由に表現することができる(中ー2段階 A表現ーア)	(知・技) (思・判・表) (主学) 主題に合った作品を自由に表現しようとする	卒業式壁画	・卒業式壁画	音楽 理科
	3月	4	(知及技) (学・人) 作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高める(中ー2段階・B鑑賞ーア)	(知・技) (主学) 作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高めようとする	鑑賞(まとめ)	・作品鑑賞	国語 社会
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・態度 ・理解度 ・習得度 ・提出物の状況				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高 3 年 25名		高校生の美術 (日本文教出版)

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。(高2段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(高2段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高2段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	4	(知及び技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫している。 (思・判・表) 人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学) 自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○人物を描く	・自己の内面を見つめ、今の気持ちや性格など自分らしい印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。	国語 情報
	5月	10	(知及び技) 色彩の仕組を生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高2段階: 共通事項(ア)(イ))	(知・技) 色彩の仕組を生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表) 基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学) 色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○色彩	・色の原理、三原色 ・デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。	国語 理科
	6月	10	(知及び技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表) 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学) 使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○身近な素材と立体表現	・素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。	理科
	7月						

2 学 期	9月	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。(高2段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えたりする。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高2段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表) 版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えている。 (主学) 版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	○版で表す	・ 版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。	国語 数学 理科
	10月						
	11月	4	(知及技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表す。(高2段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表している。 (思・判・表) 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学) 伝えたい内容を効果的にポスターに表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○ポスターで伝える	・ 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、ポスターをデザインする。	国語 数学 理科
	12月	10	(知及技) 画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表している。 (思・判・表) 目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学) 映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。	○映像で伝えるメッセージ	・ 目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。	情報 国語 理科

3 学 期	1月	16	(知及技)美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深める。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。 (高2段階: A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技)美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深めている。 (思・判・表)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	○これからの私と美術	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。	国語 理科 社会
	2月						
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・態度 ・理解度 ・習得度				

令和8年 高等部 3年 (Ⅱ課程B) 美術科 年間指導計画 (シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2/70	高 3 年 6名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	絵画・デザイン・版画及び立体造形等を通じて技能を身につけ、知識を深める。(高等部Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分なりに工夫し表現することができる。(高等部Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	造形活動に興味関心を持ち、積極性を育てる。(高等部Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	4	(思判表力) (学・人) 自由に描くことができる(高Ⅰ段階 A表現ーア)	(思・判・表) (主学) 自由に描こうとする	絵画	・自由描画	国語
	5月	8	(知及技) 色の違いを理解し、好みに合わせて彩色することができる(高Ⅰ段階 共通事項ーア)	(知・技) 色の違いを理解し、好みに合わせて彩色しようとする	絵画	・自由描画	国語
	6月	8	(知及技) (学・人) 現代技法(マーブリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等)によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持つ(高Ⅰ段階 共通事項ーア)	①(知・技) (主学) 現代技法(マーブリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等)によって平面作品を制作し、各々の表現技法に興味関心を持とうとする	デザイン	・現代技法(マーブリング・コラージュ・フロッタージュ・デカルコマニー等)による作品制作	数学
	7月	4	(学・人) 粘土等に触れ変形させることができる(知及技) (高Ⅰ段階 A表現ーア)	(知及技) (主学) 粘土等に触れ変形させようとする	工芸	・陶芸	理科
	9月	8	(思判表力) (学・人) 紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ることができる(高Ⅰ段階 A表現ーア)	(思判表力) (主学) 紙や木片やアルミホイル等を用いて立体的な作品を作ろうとする	立体造形	・紙や木片やアルミホイル等を用いた立体制作	理科 数学
Ⅱ 学期	10月	8	(知及技) (学・人) 共同制作を通じて大きな作品を作り上げることに興味関心を育くむ(高Ⅰ段階 共通事項ーア)	(知・技) (主学) 共同制作を通じて大きな作品を作り上げることに興味関心をもとうとする	ポスター	・テーマに即した描画・彩色 ・ICT機器活用	国語 体育 情報
	11月	8	(思判表力) コラージュや線刻等の技法を用いて版を作り上げることができる(高Ⅰ段階 A表現ーア)	(思・判・表) コラージュや線刻等の技法を用いて版を作ろうとする	版画	・版画	国語 理科
	12月	6	(知及技) バレンやプレス機を回し版画を完成させることができる(高Ⅰ段階 A表現ーア)	(知・技) バレンやプレス機を回し版画を完成させようとする	版画	・版画	国語 理科
	1月	8	(知及技) (思判表力) (学・人) 主題に合った作品を自由に表現することができる(高Ⅰ段階 A表現ーア)	(知・技) (思・判・表) (主学) 主題に合った作品を自由に表現しようとする	卒業式壁画	・卒業式壁画	音楽 理科
Ⅲ 学期	2月	8	(知及技) (学・人) 作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高める(高Ⅰ段階・B鑑賞ーア)	(知・技) (主学) 作品鑑賞を通じて美術への興味関心を高めようとする	鑑賞(まどめ)	・作品鑑賞	国語 社会
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・態度 ・理解度 ・習得度 ・提出物の状況				